

2022年度 第4回 公立大学法人埼玉県立大学理事会 議事録

1 日 時

2022年8月22日（月） 10:00～10:30

2 開催方法

WEB 会議

3 出席者

田中理事長、星副理事長、阿部理事、伊藤理事、荻野理事、岡島理事、荒井監事、後閑監事

4 出席教職員

朝日学長補佐兼高等教育開発センター長、濱口研究開発センター長、林学生支援センター長、福田副局長、森調整幹兼総務担当部長、山口企画・情報担当部長、片岡財務担当部長、関根研究・地域産学連携担当部長

【視聴】

金村研究科長、延原情報センター所長、田口地域産学連携センター所長、滑川保健センター所長、東高等教育開発センター副センター長、北畠地域産学連携センター副所長、田中共通教育科長、鈴木看護学科長、山崎理学療法学科長、川俣作業療法学科長、河村社会福祉子ども学科長、高橋健康開発学科長、山崎施設管理担当部長、関口教務・入試担当部長、江尻学生・就職支援担当部長

【欠席】

鈴木副学長兼学部長、

5 議 事 概 要

【議事録確認】

理事長から前回の議事録が提示され、確認された。

【議決事項】

(1) 第11号議案 令和4年8月修正予算について

資料に基づき、福田副局長及び関根研究・地域産学連携担当部長から説明された。

案のとおり、異議なく議決された。

主な発言は以下のとおり

- ・受託した研究において、シンポジウムの開催を検討といった発言があったが、本学で開催するのか。
→開催の内容や方法等は今後研究者間で検討していくと聞いている。
- 決定したら、お知らせする。

【報告事項】

(1) 報告事項1 埼玉県立大学 FACTBOOK について

資料に基づき、山口企画・情報担当部長から報告された。

主な発言は以下のとおり

- ・本資料は、ホームページで一般に公開するのか。また、必要な方がダウンロードすればよく、印刷して配布する必要はないと思うがどうか。
→ホームページ上でダウンロードできるようになっている。ご指摘のとおり、ペーパーレスの観点から印刷は控える方針である。

(2) 報告事項2 2021 年度埼玉県立大学学生調査について

資料に基づき、山口企画・情報担当部長から報告された。

主な発言は以下のとおり

- ・回答率は、学部生が94.2%であるのに対して、研究科生が45.7%と低い理由は何か。

→学部生は、集合してアンケートに回答する時間を設けたことから、高い回答率となっている。次回は研究科生の回答率が向上するよう努めたい。

・Q2－3「これまでに受けた授業（講義、実習など）は、あなたが期待していたとおりでしたか」との設問があり、Q2－4で「あまりそう思わない」「そう思わない」理由を尋ねる設問となっている。設問の回答で、例えば、「教員の教え方が適切でない」といった選択肢が多くの回答があるものもあるが、この調査結果を受けた改善やフィードバックは行われているのか。

→ご指摘のとおり、こういったデータを教育に活かすことは極めて重要である。この回答だけでは特定ができないため、直接フィードバックすることはできないが、総体として、学生がこのような教育の受け止め方をしているということを、的確に受け止める必要があると思う。

各授業科目については、学期ごとに授業評価アンケートを実施している。それぞれの担当する科目の教員が、満足度も含め、履修している学生の評価を受けることになる。

・Q3－1、－3でサークル活動やボランティア活動の参加率が低いが、医療系の大学の学生は学業で忙しいので参加しづらいと思うが、このくらいの数値が妥当なのか。それとも、本学の立地などの特殊な理由があるのか。このあたりについて分析していれば、教えいただきたい。

→コロナ禍により、学内で積極的な活動ができなかったことが大きな要因と考えている。サークル数も約50団体あったが、10団体くらい減少した。今年度は、学生支援の目標として、低迷してしまった学生の自主的な取組の側面支援に取り組んでいる。幸い、積極的な学生もいることから、サークル数も増えてきつつある。引き続き相談があった場合は支援していきたい。

ボランティア活動は個々の教員がゼミ生や履修生に進めていることが多い。学生たちのボランティアへの関心は非常に高く、学生表彰などでも毎年度、ボランティア活動に積極的なものは表彰を受けている。ただ、個々の教員に委ねられており全体を把握できていない点が課題と考えている。

【その他】

・荒井監事、後閑監事より退任の挨拶があった。

以上